

## 令和6年度 始業式 校長の話

おはようございます。元気ですか！？元気があれば始業式もできる。どんどん、元気を発信していきます。

今日、さっそく門の前であいさつをしてくれる人。初めて出会ってあいさつしてくれた人。うれしいです。

大竹小学校は、こんな「あいさつの仕方」をすることになっているようです。確かに、今朝からできている人がたくさんいました。

### 大竹小学校のあいさつのしかた

#### 3つの あ



- あいてを見て
- あかるい声で
- あたまを下げる

3つの「あ」

「あいてを見て」

「あかるい声で」

「あたまを下げる」

校長先生からも、これに付け加えて、「『あいさつ』とは何か？」ということをお話しします。

あ：あかるく・・・これは共通です。

い：いつでも・・・いつでも、どこでも、何度でも

さ：さきに・・・校長先生はあいさつの試合をします。勝手に。出会うって先にあいさつをした方の勝ちです。

つ：つづける・・・毎日します。

明るく、いつでも、先に、続けるのがあいさつです。

あいさつ  
とは？

あかるく  
いつでも  
さきに  
つづける

さあ、令和6年度の始まりです。

皆さん、進級、おめでとうございます。みんな学

年が1つ上がりました。おそらく、気持ちを新たにして、これからの1年

間、頑張るぞ、という気持ちになっていると思います。とりわけ、小学校6年生は最高学年です。学校の機関車として、グイグイ学校を引っ張ってください。

さて、みなさん、大竹小学校の「学校教育目標」を言えますか。

「みんなで伸びる ～トライ&サポート～」

「みんなで」：みんなといっしょに、みんなとかかわりあって

「トライ」：目標を決めてやってみる（挑戦）

「サポート」：挑戦している人を応援できる

いろんなことを書いていますが、まず「挑戦」しないといけません。

じゃあ、何にどのように挑戦するのでしょうか。

こんな本があります。「知ってほしいこの名言～大切にしたい言葉～背中を押してくれる名言」という本です。

有名な人が言った、心に響く言葉が、たくさん紹介されています。

有名なメジャーリーガー、あの大谷翔平選手の「憧れるのをやめましょう」という言葉も紹介されています。

この本の中で、校長先生が、一番心に響いたのは24ページのこの言葉です。

誰の言葉かという「プロレスラー・政治家のアントニオ猪木」という人の言葉です。残念ながら、一昨年、お亡くなりになりました。

「その一足が道となり その一足が道となる

迷わず行けよ 行けばわかるさ」

この本には、この名言の意味が、次のように説明されています。

「人は、新しいことを始めるときには迷ったり不安を感じたりします。しかし、一步ふみ出さなければ、成功ありません。新しい道も一步ふみ出さないとわかりません。」ということです。

ただ単に、「とにかくやってみなければわからない」という意味ではないということです。

「迷わず行けよ 行けばわかるさ」 校長先生は、簡単に言えば、「迷ったら、大変そうな方を選べ」ということだと思っています。

実は、「むずかしいこと、めんどくさいこと、つらいこと」というものは、実は、自分が成長するチャンスになります。

勉強でも、運動でも、掃除当番、給食当番、給食で苦手な食べ物も、友達とけんかして仲直りしないといけないときも、逃げません。挑戦してみます。勇気をもって挑戦してください。

粘り強くトライ、挑戦して、九九も言えるようになった、

速く走れるようになった、苦手だった野菜も食べられるようになった、掃除も上手になった、逆上がりもできるようになった……。これが成長です。

トライ&サポートということで、一人一人の挑戦に、お互いに教え合ったり、困っていたら助け合ったり、困ったら助けを求めたり、お互いに競い合ったりして、みんなで伸びましょう。

まずは、「挑戦」です。「迷わず行けよ。行けば分かるさ」

